



人口の変化に対応した  
まちづくりを目指して

北本市長  
三宮 幸雄

市民の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃から市政運営に対し格別なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月には、天候にも恵まれ、本市の一大イベントである「北本まつり」や令和6年から開催している「縄文まつり」及び「カレーフエスティバル」を市民の皆様をはじめ多様な主体と協力して盛大に開催し、市内外から数多くの方が参加されました。これらの事業を通して、あらためて交流人口・関係人口の重要性を認識したところです。

令和8年度は、市民の皆様と作り

上げた、まちづくりの最上位計画である第六次北本市総合振興計画前期基本計画の実施・運用初年度となります。令和12年度までの5年間、この計画に基づき、本市を取り巻く現状や市民ニーズを正しくとらえ、人口の変化に対応した持続可能な市政運営を行うこととなります。

人口が減少していく中でも、「&green」をコンセプトとしたまちの魅力を生内外へ広くPRして愛着の醸成に取り組み、その魅力の磨き上げ、強みの向上を図るとともに、様々な人や団体、事業者等がこの北本の地で活動し、活躍できる環境を創出することで、関係人口を確保し、活力を維持するまちづくりを進めたいと考えております。

今後、本市で暮らす方々に、まことに愛着や誇りを持ち、これからも住み続けていただくことに加え、多くの人が関わり続けたいと思えるような魅力あふれるまちを目指し、引き続き、全力で市政運営に取り組んでまいります。

この一年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。



誰もが未来に夢を持ち  
安心して暮らせる  
まちづくりを目指して

北本市議会議員  
保角 美代

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より市議会に対しまして御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年は、阪神・淡路大震災から30年、そして終戦から80年を迎える節目の年でした。災害復興や平和への思いを新たにするとともに、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博の開催や新内閣の発足など、新しい時代への歩みも始まりました。

市議会では、令和7年5月の臨時会において、正副議長の選挙及び常

任委員会委員の改選を行い、女性が正副議長となりました。正副議長ともに女性が就任するのは本市議会として初めてであり、歴史の新たな一歩を刻む出来事でした。この出来事に象徴されるような多様な視点を活かし、市民の皆様にとって、より身近で信頼される議会を目指してまいります。

また、新体制のもと、市民の皆様への信頼と負託に応えるため、「議会改革特別委員会」を設置し、開かれた議会運営の推進、広報広聴機能の充実、政策提言機能の強化など、市民の皆様の声を実に市政へ届けるため、一歩一歩着実に改革を進めるための活発な議論を重ねています。

今後も、議員一同、市民の皆様への声を真摯に受け止め、身近で開かれた議会の実現に努めるとともに、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

本年も一層の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして実り多い一年となりますよう祈念申し上げます。新春の挨拶とさせていただきます。

まちの話題



北本市空手道連盟の坂本隆文さんが  
文部科学省大臣表彰を受賞

10月16日、北本市空手道連盟の坂本隆文さんが文部科学省大臣表彰を受賞しました。

坂本さんは、長年にわたり市内外で空手道を一貫して指導し、スポーツの普及発展に貢献されています。このことが認められ、文部科学省大臣表彰の受賞となったものです。

現在も空手道連盟の指導者として、市内各所で活動される坂本さんの今後の更なる活躍を期待します。



「北本トマトクラブ」が  
第4回全国クッブ大会で第3位！

中丸公民館などで活動している「北本トマトクラブ」が11月1日に開催された第4回全国クッブ大会に出場。50チームが参加した予選リーグを突破し、決勝トーナメントで第3位に輝きました！

クッブは木の棒を投げ合って木の的を倒す、スウェーデン生まれのニュースポーツです。

北本トマトクラブの今後の更なる活躍を期待します。



明治安田生命保険・武蔵野銀行から学ぶ！  
「金融教室」を西中学校で開催

社会の授業の一環として、明治安田生命保険相互会社大宮支社北本営業所・武蔵野銀行北本支店の皆さんがお金の使い方について授業を行う「金融教室」が、12月3日、西中学校の3年1組・2組で行われました。

授業では、はじめに現金がなくても買い物できる方法として、クレジットカード・デビットカード・プリペイドカードの3つのカードが紹介され、それぞれの特徴やメリット・デメリットについて学びました。さらに、中学生に身近な電子マネーとして、交通系ICカードや二次元コード決済アプリ等についても触れられ、講師から「二次元コード決済を利用しているか」と質問されると、生徒の半数以上が手を挙げました。

個人ワークでは、「現金支払いと電子マネー支払い、それぞれよかったことや困ったこと」について考え、班ごとに発表することに。生徒たちからは「現金払いはお金を持っている実感がある、お店とコミュニケーションが取れる」「電子マネーは財布を出さずにさっと払える」「電子マネーはポイントが付くが使えるお店と使えないお店がある」など、さまざまな意見が発表され、プロの授業を通して実生活のお金について深く考える機会となりました。

